

事務事業名		中学校安全支援ボランティア事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				担当係	総務係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2	安全で安心して学べる教育環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3	地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	13582	一般	10	3	1	中学校安全支援ボランティア事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H13年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		教育・指導事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
各学校在年1回ボランティアを募集する。教育委員会が学校安全支援ボランティアとして登録し、ボランティア保険に加入の手続きを行い薄謝を支給する。学校の実情に応じて、学校が定めた通学路・学校区周辺の巡回点検を行う。			年度末 各中学校で安全支援ボランティアを募集する。4月より新年度の保険の加入手続きを行う。随時巡回点検を行う。1月 学校を通じて薄謝の支給							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			ボランティアの人数	人	118	121	160	160	160	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
中学校生徒 通学路・通学区域 安全支援ボランティア			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			生徒数	人	3,027	2,992	2,942	2,947	2,897	
			学校数	校	10	10	10	9	9	
			ボランティアの人数	人	118	121	160	160	160	
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
通学路の安全確保を図りたい 引いては、生徒の通学の安全性を確保したい。			通学路の安全性	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
通学路の安全確保を図りたい			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			学校安全支援ボランティアの人数	人	118	121	160	160	160	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	95	97						
	事業費計(A)	千円	95	97	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償物資費	59	報償物資費	61				
			賠償責任保険料	36	賠償責任保険料	36				
人件費	人	1	1							
のべ業務時間	時間	12	12							
人件費計(B)	千円	47	47	0	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	142	144	0	0	0				

事務事業名	中学校安全支援ボランティア事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	総務係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成13年神戸市池田小学校での事件を契機に学校内での安全についての意識が高まり、この事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年の日光市での下校時での事件により登下校の通学の安全確保についての意識が高まった。 平成24年に通学路での交通事故が多発し、通学路の安全性に対する関心が深まりつつある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	児童生徒の登下校の安全確保については、平日頃より住民の関心は高い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 児童生徒の通学の安全性を向上させるということは、地域ぐるみで行う児童の安全対策の充実に直接結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案 この事業の直接の担い手はボランティアである。しかし、ボランティアへの保険については市でかける必要がある。	
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？		
妥当である	理由・改善案 対象は小中学生や、通学路・学校周辺区域であり、安全対策を充実させるためであり、妥当である。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 市では、ボランティア保険を掛け、薄謝を渡すのみであり、成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名	
*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 市職員の人件費については、保険や薄謝を準備するための時間のみの人件費であり、削減する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 市立中学校に関するものであり、受益者負担は求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	全ての中学校が市立でなくなれば、事業終了となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			